

塩尻

市民タイムス塩尻支社
〒399-0746塩尻市大門並木町7-5

TEL0263-54-0085
FAX0263-53-4442



企業とともに、未来を拓く。

長野銀行グループ
株式会社 **ながぎんリース**

TEL.0263-35-6866
松本市大手2-2-16 ながぎん松本センタービル4F

特徴ある産業学生が感心

中央大の15人市内視察

東京都八王子市の中央大学文学部社会学専攻の学生たちが12日、4日間の日程で塩尻市を訪れ、林業やワイン、ICT(情報通信技術)、観光・商店街の4分野について調査を行った。最後は大門商店街の空き店舗を活用したにぎわい創出拠点・ナノダで流しそ

うめんを行い、聞き取りに快く協力してくれた関係者に感謝しつつ、「有意義だった」と口々に塩尻への好印象を話していた。社会学専攻の小熊信兼任講師(39)のゼミ



塩尻市内での調査を終え、ナノダで流しそうめんを楽しむ学生たち

で学ぶ3・4年生15人の都市を決めていて、今年3年生の吉積賢太さん(22)が「大学の図書館で塩尻市立図書館の先進的な取り組みを紹介した本を読み、関心を持った」と塩尻市を推し、選ばれた。

学生たちは4分野に分かれて、それぞれ市の部署や企業経営者、商店街の店主らから話を聞いた。林業班の学生4人は林業再生の信州Fパワープロジェクトに着目し、片丘のソヤノウッドパークの製材加工工場や、市が取り組む間伐促進策・山のお宝マシーンを見学し、まき割りも体験した。北小野財産区

の役員からも課題を聞いた。4年生の前山元哉さん(23)は「50年以上の長期的視野で取り組まれていて感心した」と話していた。

体と心楽しくほぐす

野村区元気づくり広場

塩尻市の野村区公民館で12日、地区の高齢者が集う元気づくり広場が開かれた。75歳以上の27人が健康体操やおカリナのミニコンサートを楽しみながら交流を深めた。

参加者は、手ぬぐいを使った体操で体を伸ばしたり、足腰を強くして転倒予防につなげる体操を実践したりした。昇降台を活用して健康状態を測る「健脚チェック」なども行い、参加した米山恒子

ICT班はIT企業の経営者ら取材し、4年生の手島齊さん(22)は「ICT化の展望などを聞き勉強になった。最終的には人と人のつながりが大事だとわかった」と有意義な話に感謝した。

会合・催し

13日
★カワイ音楽教室・おとなのサロンおさらい会(後2時30分、市民タイムス塩尻ホール)

「塩尻の産業は連続性がありながら、社会環境に合わせてうまく変化し、対応している。いい意味で予想を裏切られた」と感心していた。(柳 純)

できない運動ができて楽しかった。人が集まるとにぎやかでいい」と喜んでた。

野村区の元気づくり広場は、塩尻市社会福祉協議会野村分会が年2回企画している。区福祉委員代表の玉井徹さん(73)は「地域の皆さんに楽しく元気に過ごしてもらい、明日からの活力にしてほしい」と願っていた。